全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL：045-663-4061　FAX：045-663-4062
メール：nenkinkanagawa@nifty.com

3月31日現勢

組合員	10,513人
機関紙	6,480部
100万署名	1,760部

年金者しんぶん

神奈川県版　第324号　2015年4月15日
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL.03(5978)2751　FAX.03(5978)2777
発行人　冨田浩康　　月刊1部100円　送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

安倍政権の高齢者いじめなんかに負けないゾ
にぎやかに春の年金者一揆

最優秀賞をとった川崎麻生支部。たくさんの要求とおばあちゃんのオメンがいい

「年金引き下げは憲法違反」などと銘打って、神奈川年金者一揆が4月1日横浜に48支部310人を集めて開かれました。

中央本部の田島副委員長や多くの来賓が激励に駆けつけました。横浜緑が仲間ふやし、保土ケ谷支部から年金訴訟の報告、決意表明がされました。この勢いに負けたのか雨にも降られず、午後の官庁街をパレード。市民の足を止めさせました。アピールコンテストでは麻生支部が最優秀、5支部が優秀賞を受賞しました。

仲間増やし、生きがいのある
誇り高い人生でありたい
――斉藤健緑支部長

優秀賞の旭支部。川柳が沿道の市民の足を止めていた

年金引き下げは憲法違反　私も原告です

死ぬまで減る年金に怒りいっぱい
横浜みなみ支部　加藤郁子

年金を30年間も引き下げ続けるなんて許せない。ただただこの思いだけで原告になった。日々の生活さえままならない人たちからも容赦なく切り下げるのはあまりにも不当だ。年金は、生きていくための所得保障です。

未来の希望が無くなる
保土ヶ谷支部　金田千代子

退職後、あれもやりたい、これもやりたいと思ったし、先輩からも年金でやっていけると言っていた。これじゃ、現役時代の期待感が奪われてしまう。私になんの相談もなく、将来に渡り減額を決めるなんて許せない。生涯設計が崩れ、未来への希望がなくなる。

"減員負け"にくじけず500人増やそうよ
第69回　県本部委員会開く

今年度の県本部委員会が、3月17日、横浜に委員66人と執行委員を集めて開かれました＝写真右。

6月に横浜地裁に「年金引き下げは違憲」の提訴をします。保土ケ谷で8人、横浜みなみ19人、金沢支部7人が原告に名乗り出ています。現役と共同で集める「100万署名」を急ぎます。

「仲間増やし月間」では、「減員負け」にくじけず、新規加入者を500人以上増やすことを月間の重点としました。

「県本部25周年記念県本部事務所移転」は5月4日に関内駅近くの文化体育館前のビルに移転します。年金裁判で300円、移転初期費用200円を捻出するひとくち「500円ワンコイン」募金運動が始まりました。

"知恵出せば"募金集まる
――川崎麻生支部の取り組み

県本部委員会で決まった「ワンコイン」カンパ。支部の定例会（役員以外の方も参加）で、裁判と事務所移転のカンパの内容を訴えるとみなさんわかって下さった様子。

では目標額をどうして集めればいいか？　生活の苦しい方やどこにも出てこれない方から集めるのはむずかしいので、出せる人からお願いしては？　という話に。千円出せる方は？　もう少し出せる方は？　1万円もお願いしたら出してくれる方もいそう…など話し合い、全員から集めるのは無理でも、それぞれ出来る範囲の額をお願いしていこうということになりました。会議のあと早速千円札を数人が出して下さり、何とか目標を達成出来そうな感じです。

厚木基地の6倍もの巨大新基地建設反対。キャンプシュワブゲート前でのデモ（写真撮影：青木昭弘）

辺野古に行こう
沖縄支援「先遣隊」

腹は決めている―翁長雄志沖縄県知事が、辺野古新基地建設作業の中止を国に指示した4日前の3月19日、私たちは、終日、沖縄の人達とキャンプシュワブ基地ゲート前に座り込み、デモをして、みんなと歌った。5月に年金者組合の仲間がたくさん駆けつけると話す。「大和（神奈川）からの支援待っている」と握手を求めてきた。

（杉沢隆宣）

好奇心
「星の王子さま」と「憲法」入学する孫へ

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ」世界で8000万部普及の「星の王子さま」の一節です。

世界中のあらゆる戦争に参加する方向に「切れ目なく」暴走していく安倍政権は、今度は道徳教科の「小中学校指導要領改定案」を発表、政府の一方的価値観で教育内容を定めた教科書で子供を評価・統制することを決めました。「国や郷土を愛する態度と心を持たせる」とゆがんだ「愛国心」で日本が戦争に加わることを容認する国民意識をつくろうとする危険な内容です。

国家が特定の価値観を押しつけるのではなく、憲法的な人権・人間の尊厳・平和・民主主義などを子供たちにきちんと教えることが道徳教育の基本です。

この4月孫たちの入学や新学期を迎えて思うことは、いじめや差別や貧困に抗し、反戦・平和の憲法的価値をしっかり守っていくことでしょう。そして「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない」と伝えていきたい。

（妖光）

事務所移転のお知らせ

年金者組合神奈川県本部は
5月4日、下記に移転します
〒231-0032
横浜市中区不老町2−8 不二ビル2F
電話 045(663)4061　FAX 045(663)4062
JR関内駅南口5分、横浜文化体育館前。電話番号は変わりません

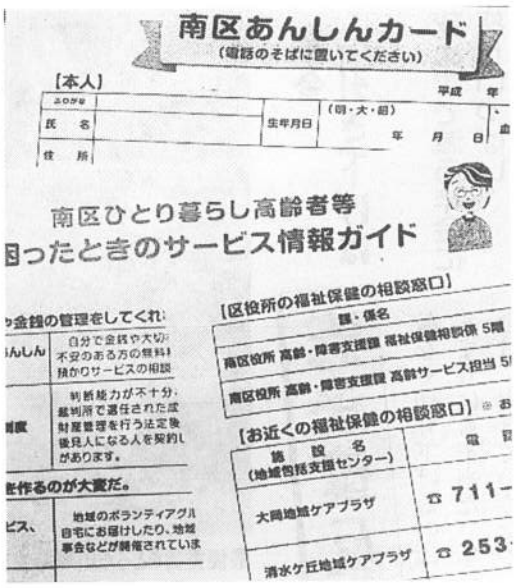
前進座公演の申込みしめ切り　4月20日です。演目は悲恋「番町皿屋敷」と「文七元結」

年金裁判と県本部事務所移転費用"募金"のお願い

透かしを削除する　Wondershare PDFelement

慌てていても大丈夫

年金者組合アイディア「困ったときのサービス電話一覧」



横浜みなみ支部のアイデアでつくられ活用されている「困ったときのサービス電話一覧」カード。既存の老人会にも人気で、増刷されています。

とかく役所がつくる福祉関係のガイドブックは、やたらと厚く、知りたいページがわからない、カタカナが多い、など不便との声が聞かれます。

写真は横浜南区役所につくらせたガイドですが、真っ先にかけたい、知りたい先の電話番号がすぐわかります。

「あんしんカード」などは、とっさのために絶対必要です。

大和市や横浜旭区でも南区役所同様の一覧をつくっています。

役所につくらせるとともに、支部自身でつくるのも大切で、街頭宣伝チラシとセットで配布すると効果てきめんです。

すっかり定着

年金者組合囲碁大会

恒例の県本部主催「第6回年金者組合囲碁大会」が2月28日、かながわ労働プラザで開かれ100人の棋士が争いました＝写真。

名人戦の棋譜は神奈川新聞に掲載されました。

県本部女性の会から

会議スタイルが変わります

毎月、月末の金曜日におこなっていた幹事会を4月から偶数月はブロック会議、奇数月は幹事会とします。いままで各支部の状況が把握できませんでしたが、ブロック会議でもっと交流を深めたいと思っています。近くで開くことでより参加しやすくなると思います。

何にも負けない勇気みなぎる女たち　辺野古に行こう！

辺野古に年金者の旗を高く掲げたい

いても、たってもいられず3月18、19、20の3日間、座り込みに参加。目の前に米軍基地、その後ろには、美しい海を見て、日本政府と米軍に対する怒りがこみ上げてきました。もっと多くの人と、再度来て、年金者の旗を高く掲げたいと思いました。沖縄辺野古へ行きましょう。

（金沢・黒田浩文）

怒りを肌で感じる

沖縄県庁前から島ぐるみの会のバスで座り込みへ。シュワブゲート前でのデモ行進は圧倒的に女性たち、ゲートの柵を石でバンバンたたいたり、太鼓を鳴らしたり、怒りを表している姿は何にも負けない勇気がみなぎっていました。

（中・村田泰子）

駆けつける

瀬長亀次郎記念館を訪ね沖縄の怒りを学びました。そして、「辺野古新基地建設反対運動」を応援しようとキャンプシュワブ正門前の座り込み抗議に参加し県民の新基地反対の熱い思いを肌で感じられた。

（西・青木昭弘）

自治体要求運動の草分け（中）　厚木支部

県内初●「聴える」磁気ループ設置　組合員の声で支部動く

難聴団体「全国に広がってほしい」

組合員の声を支部執行委員会で議論して、市議会陳情となり、「難聴システム（磁気ループ）」が公的施設に設置された。いま思い出しても快挙でした。1998年2月でした。

厚木支部が議会に出した「最低保障年金制度」「高齢者バス無料制度」の審議具合を傍聴した組合員からの「聞き取れない」「問題にすべきだ」との要求を受けて、支部は1998年2月議会に「難聴者用補聴施設の設置」の陳情、採択され、議会本会議場や福祉センターなどに10台設置されました。県内では初めての導入でした。

当時の佐藤光助支部長が「朝日新聞」のインタビューに「耳の遠いお年寄りに質疑の内容がよくわかり、うれしい」と喜びを語っています。読売新聞では、「全日本難聴者中途失聴者団体連合会」が「全国でまだ例が少ない、全国的に広がって欲しい」との声を掲載しています。

試聴体験に組合も呼ばれて「良く聞こえる」と合格点を出しました。これがNHK首都圏ニュースで放送されました。普及状況は、茅ヶ崎市が支部の要望で来春出来る新庁舎に、県庁では全体把握をしていないとの事です。

（川井弘次）

長谷川径弘の神奈川の地酒今昔　第10回

地の漁師に親しまれた「ぶり正宗」

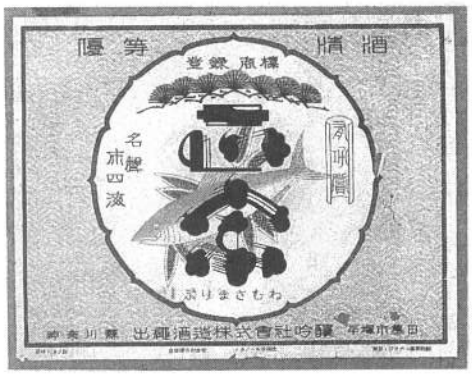
緑と風がさわやかになると、平塚万田の出縄酒造がなつかしく。東海道線車窓から見える湘南平の北下。がとうに廃業。1989年4月の取材でした。

ハイクコース湘南平から真北に車道を30分ほど下がると蔵に。創業明治38年。関東大震災に耐えた太い梁や柱と裸電球の印象が、強く残っています。

冬場の「ハイクと地酒探訪」では、「にごり生酒」が目当て。

酒名「旭乃瀧」は、「中郡旭村」から。仕込み水は蔵先の山腹の伏流水。明治末から戦後までの酒票「ぶり正宗」のブリは絵解きで東京・ワタナベ美術印刷作。ぶり漁盛んだった頃、大磯、小田原の漁民に親しまれたそうです。今はまぼろし。「旭乃瀧」は平塚八幡宮のお神酒でもありました。これも…。

（横浜西支部）



■自転車保険の申込みしめ切りは、県本部着で5月11日！

神奈川年金者文芸

（俳句）

さざ波の春光掬う小さき手　愛川支部　白井　信子

春雨のかすかに濡らす傘の中　愛川支部　田邉　弘己

春光や繰り返し読む友の手紙（ふみ）　平塚支部　寺田　公明

風吹いて梅の香まっすぐ届きけり　秦野支部　土田　絢子

水尾曳きて行き交う船や海光る　三浦支部　佐藤　保子

雑念や法事読経春寒し　三浦支部　佐原　ヒサ

観音の微笑む先に梅の花　逗葉支部　中馬さゆき

風光るわけもなく泪みこぼれけり　逗葉支部　長谷川紀美子

雛飾る孫の可愛さ身にあまる　川崎みなみ支部　鏡　専一

（川柳）

汚染水黙秘隠蔽春の闇　愛川支部　廣井　瑞枝

格安で風穴空けて翼折れ　愛川支部　村井　庄三

丁寧を繰り返すほど疑惑増え　愛川支部　青井　功

十八才以上と以下がにらみあい　秦野支部　雄　一郎

制服組のさばる気配苦い過去　旭支部　毛利やすひこ

年金者組合神奈川県本部結成25周年企画

戦後70年・新基地建設反対「オール沖縄」支援ツアー　3日間

旅行期間　5月25日（月）～5月27日（水）　¥76,500

実施人数　40名様（最少催行人数30名様）

辺野古で抗議する沖縄の仲間を激励！

漁船をチャーターし、新基地建設予定地で抗議運動に参加します！

行程：①羽田～那覇　不屈館、首里城、座喜味城跡（名護市内ホテル泊）②北部見学→東村高江区、辺野古、（那覇市内ホテル泊）③自由行動、オプション：南部戦跡（平和祈念公園、ひめゆり資料館、新原ビーチなど）　那覇～羽田

■利用予定ホテル：ホテルサン沖縄、ゆがふいんおきなわなど

■食事：朝食2回・昼食2回・夕食2回　■添乗員：羽田空港より同行

企画・実施・資料請求　観光庁長官登録旅行業第84号　JATA正会員　㈱富士国際旅行社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7宮庭ビル4階　TEL:03-3357-3377 FAX:03-3357-3317

訂正＝前号2面前進座公演「文禄元結」は「文七元結」の誤り、訂正してお詫びします